

「小さな一歩、大きな成長へ」～2学期の成長が始まる～

8月29日、まだまだ厳しい暑さの残る中、八田中学校の2学期がスタートしました。

始業式では、各学年の代表の生徒が、2学期に向けた決意や目標を、自らの言葉で堂々と発表しました。

「2学期は自分をもっと成長させたい」「学年全体で力を合わせて成果を残したい」「学園祭をはじめ行事が多くあるので、仲間と協力して取り組みたい」、どの発表にも、前向きな思いと、成長への強い意志が込められていました。

夏休み中には、県総合体育大会や関東大会などの大きな舞台に、本校の生徒たちが挑み、各競技で活躍を見せました。入賞という結果を残した生徒もいれば、悔しい思いをした生徒もいます。しかし、中学校生活はあくまで人生の通過点です。結果が出た人は自分の努力を誇りに、さらに高みを目指してほしい。

思うような結果が得られなかった人も、その挑戦を肯定し、「**チャレンジ**」と「**継続**」、そして「**1%の改善**」を積み重ねていくことで、自分の可能性を広げていくことができます。

始業式では、生徒たちにイチロー選手の言葉「**小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道**」を紹介しながら、2学期もまた、一人ひとりが自分らしい目標に向かって努力を重ねてほしいという願いを伝えました。

日々の学び、仲間との関わり、行事への挑戦。2学期には、子どもたちが大きく成長できるたくさんの機会があります。これからも、生徒一人ひとりの歩みを信じ、教職員一同、全力で応援してまいります。

「職場体験」～社会にふれ、自分を見つめる一日～

夏休み中、2年生が職場体験学習に取り組みました。この学習は、働くことの意義や社会の仕組みを体感的に学びながら、コミュニケーション力や自己理解を深め、将来の進路について考えるきっかけとすることを目的に行っているものです。

商工会のご協力のもと、市内を中心とした企業や事業所の皆様にご支援いただき、2年生一人ひとりが希望する業種で1日体験学習を実施しました。ご多用の中、温かくご指導くださったすべての受け入れ先の皆様に、心より感謝申し上げます。今後も、地域の皆様と連携しながら、子どもたちが“社会とつながる学び”を深めていけるよう努めてまいります。

実際に現場で働く方々とふれあい、仕事内容や職場の雰囲気を肌で感じることで、生徒たちは自分の将来をより具体的にイメージすることができました。また、「ありがとう」と言ってもらえた喜びや、仕事をやり遂げた達成感は、普段の学びへの意欲にもつながる貴重な経験となりました。

一人ひとりにとって、かけがえのない「社会との出会い」となったこの一日が、生徒たちの心に残る“羅針盤”となることを願っています。

